

4.【事例2】インフラ構築：B社

B社の情報システム部の一員として、当社のシステムコンサルタントとネットワークエンジニアを配置。

肥大した各種基幹システムの外注保守工数及び障害対応工数を分析、可視化することで工数の最適化(削減)を実現。

最適化の一環として、外注会社の作業の一部を切り出し、設備(サーバ、DB、IT機器)、リソース(当社オペレーター要員の配置)などのインフラを構築、引き継ぐことでB社のランニングコストの大幅な削減に貢献。

さらに、大手ベンダーより導入した各種システムが長年に渡り、属人的運用となっていたところを計画管理・内部統制ができるようインフラを整備。

